



令和5年産 スイートコーン栽培基準



※平坦地を基準とする ○播種 △定植 — 収穫

作型

作型	月旬	品 種	3月		4月		5月			6月			7月			8月
			下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬
直播きマルチ栽培 ※4月上旬の播種は特に地温の確保が必要！ 生分解マルチも使用可		恵味スター	4/5		4/20								7/1		7/15	
		ほしつぶコーン	4/5		4/20								6/27		7/12	
		ゴールドラッシュ90			4/20		5/1							7/17		7/30
セル苗定植マルチ栽培 ※4月上旬播種までは、発芽率を確保する為、育苗期を使用する。 ※※4月下旬以降の定植は無マルチでも可。 生分解マルチも使用可		恵味スター	3/25	4/10	4/25					6/25		7/15				
		ほしつぶコーン	3/25	4/10	4/25					6/23		7/12				
		ゴールドラッシュ90		4/10	4/25		5/10					7/17		7/30		

★は種・定植時期を厳守する（極端な早蒔き、遅蒔きなどしない） ☆4月20日頃までの定植は遅霜に注意する。

★7月下旬以降は特に過熟(えくぼ・しなび)に注意し、適期に収穫できる作付計画をすること！

★生分解マルチを用いる場合は栽培期間中除去しない。

また、土寄せ時に管理機でマルチを巻き込む恐れがあるため、畝間は80cm以上とること！

施肥設計/10a当り・kg

肥料名	基肥 (kg)	追肥		※基肥は播種・定植の10日前 (石灰窒素は20日前)
		①	②	
堆肥	2,000			直播 追肥時期
又は ケイフン (ハイフミン)	300 (200)			
セルカフレンド	140			本葉6~8枚頃 雄穂出穂始め頃
※石灰窒素	40			セル苗 追肥時期
BMスペシャル有機又は さきがけ3号	140 100			① ②
NK化成C12号		30	30	本葉5~6枚頃 本葉7~8枚頃
【分量】	BMスペシャル有機⇒N:34.4 P:19.6 K:26.0 (堆肥・ケイフンは除く)			
	さきがけ3号 ⇒N:32.6 P:18.4 K:22.0 (堆肥・ケイフンは除く)			

品種特性

品種名	特性
恵味スター	低温期の発芽が安定しており、播種後87日前後で収穫となる中早生イエロー品種。側根が太く根張りがよいため倒伏に強い。先端不稔少なく、穂重は約480g。
ほしつぶコーン	播種後、85日の中早生イエロー品種。発芽揃いが良く、初期生育が安定する。二次根の発達が旺盛で倒伏に強く、先端不稔は恵味スターよりでにくい。穂重は約420g。
ゴールドラッシュ90	播種後90日前後で収穫となる中晩生のイエロー品種。気根が旺盛に生えることで、強風でも倒れにくい。穂の先までしっかり実が入り、穂重は約410g。

本圃の栽培管理の要点

作業基準	直播き栽培	セル苗定植栽培																				
整地畦立	前作物を早めに取り除き、全面に堆肥(完熟)、石灰窒素、改良資材を施し、深耕する。全面に元肥を施用、耕耘し畦をつくる。ネキリムシ類等の発生に注意し、早期対策をする。圃場周辺の除草につとめる。																					
除草剤処理 (10a当たり)	整地後、ゲザンゴールド140ml~260mlを100ℓに溶かし、土壌処理し、その後マルチをする。(使用回数1回) ※土壌が乾燥していると効果が劣るので注意する。																					
畦準備	<table border="1"> <tr><th colspan="2">マルチ栽培 (水田・黒ぼ)</th></tr> <tr><td>播種量</td><td>4~5ℓ/10a</td></tr> <tr><td>株数</td><td>4,400株/10a</td></tr> <tr><td>株間</td><td>30cm</td></tr> <tr><td>畦間</td><td>150cm (2条植)</td></tr> <tr><td>マルチ</td><td>幅100cm 厚さ0.02mm (穴あき)</td></tr> </table> <p>※収穫適期が短いので面積が多い場合には、10日間位あけて播種する。</p>	マルチ栽培 (水田・黒ぼ)		播種量	4~5ℓ/10a	株数	4,400株/10a	株間	30cm	畦間	150cm (2条植)	マルチ	幅100cm 厚さ0.02mm (穴あき)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">マルチ栽培 (水田・黒ぼ)</th></tr> <tr><td>株数</td><td>4,400株/10a</td></tr> <tr><td>株間</td><td>28~30cm</td></tr> <tr><td>畝間</td><td>70cm</td></tr> </table> <p>※生分解マルチを用いる場合は、畝間は80cm以上とること！</p>	マルチ栽培 (水田・黒ぼ)		株数	4,400株/10a	株間	28~30cm	畝間	70cm
マルチ栽培 (水田・黒ぼ)																						
播種量	4~5ℓ/10a																					
株数	4,400株/10a																					
株間	30cm																					
畦間	150cm (2条植)																					
マルチ	幅100cm 厚さ0.02mm (穴あき)																					
マルチ栽培 (水田・黒ぼ)																						
株数	4,400株/10a																					
株間	28~30cm																					
畝間	70cm																					
直播・間引き又は育苗・定植	播種：播種10日以上前にマルチ(発芽時の地温は14℃以上は必要)をし、1ヶ所2~3粒ずつ点播する。 ※恵味スターは1粒播き 覆土：覆土が厚すぎた場合には、発芽が不揃いとなるので十分注意し、播種覆土後軽く鎮圧しておく(覆土約2~3cm)。 間引き：本葉5~6枚頃に全体の生育が揃うように、極端な大小の株を間引く。なお、間引株はハサミで切り取る。	育苗：セルトレイは128穴・200穴とする。培土は、スミノイルN100を使用する。発芽温度28℃~30℃(低いと発芽不良となる為、発芽機又は温床を使用する)。覆土の厚さは0mm(種子が見えるか見えない程度)で発芽率は最も良い。厚い覆土は発芽不良となる。 定植：適期苗 播種後14日(3~3.5葉期)、草丈12~13cm ※老化苗にすると極端に生育が悪くなるので注意！！																				
追肥	追肥：1回目 間引後、本葉6~8枚でマルチを取り除き、株元に施用する。 2回目 雄穂が見え始めるまでに、通路(湿った状態のとき)に施用する。	追肥：1回目 本葉5~6枚(定植2週間後)で株元に施用する。 2回目 本葉7~8枚(定植4週間後)で通路(湿った状態のとき)に施用する。																				
土寄せ	土寄せ：草丈40~50cmの頃に、倒伏防止のため、土寄せをする。	土寄せ：追肥とあわせて倒伏防止のため、土寄せをする。																				
かん水	雄穂の出穂1週間前から収穫1週間前までは、土壌を乾燥させないよう注意する。(穂果の小果・先端不稔の防止のため)。 ※2週間降雨がない時は、必ずかん水する。																					
除草・除けつ	イエロー品種は除草をしない。																					
強風対策	交配前から収穫期まで強風対策として3m間隔の支柱に5芯テープを、第1果房付近にはりつける。																					
雄穂除去	病害虫防除と倒伏防止のため、交配後必ず切り取る。																					
収穫	網糸抽出後、25日頃を収穫の目安とする。網糸の先端が茶褐色になり、穂果の先端まで実が充実し、黄色になり、つぶすとミルク状をしている頃。 ①網糸の抽出を確認記録しておくこと。 ②収穫適期の幅が短いので、収穫を遅れないようにする(過熟にならないよう注意する)。 ③収穫時間は朝早く、涼しい露のあるうちに行う。 ④収穫後はムレないように注意して、風通しのよい涼しいところに並べておき荷造りを行う。																					

諸管理は、
早め早めに行なわないと主茎の生育に影響し、
穂果が小さくなる。